



Niigata  
Industrial  
Creation  
Organization

平成19年度  
**事業報告書**

財団法人にいがた産業創造機構



## 平成19年度 財団法人にいがた産業創造機構事業報告

平成19年度の本県企業の業況感は、日本銀行新潟支店によれば、中越地震の災害復興需要の減少に合わせる形で、全産業で悪化基調が続きました。その事由として、年度前半では「暖冬・小雪の影響」と「災害復興需要の減少」を、年度後半は「原材料高・燃料高の影響」や「残暑の影響」、「改正建築基準法の影響」などを挙げる先が多くありました。規模別でみると、中小企業で年度後半を中心に大幅な悪化となりました。

こうした中、平成19年7月には中越沖地震が発生し、被災地を中心に生産活動の中断のほか、消費や観光面でも減退がみられました。その後、生産は全体としてみれば極めて順調に回復し、消費も被災地以外では早期に回復しましたが、観光面などでは引き続き懸念材料が残っていることから、こうした点は注意深く見ていく必要があります（日本銀行「2007年新潟県経済の年間回顧」2007.12.28、「新潟県企業短期経済観測調査結果（20年3月）2008.4.1」）。

このような状況の下、財団法人にいがた産業創造機構（以下「NICO」という。）は、第2期中期計画期間の初年度にあたる平成19年度において、チャレンジする企業の発掘・育成を進め、創業・新分野進出・経営革新への取組を支援するとともに、高付加価値化に向けた産業の強化と新たな成長産業の育成に取り組んでまいりました。

その結果、中期目標の達成に向けて概ね順調な状況にあるところです。

NICOはこれまでの活動実績や蓄積したノウハウ、さらに付加された広範な機能を収斂・定着させ、今後とも、使命の実現に向けて全力をあげて取り組んでまいります。

## I 財団の運営

### 1 理事会／評議員会の開催状況

○第1回理事会／評議員会（平成19年5月30日 万代島ビル11階会議室／6階会議室）

- ・平成18年度事業報告について
- ・平成18年度決算書について
- ・長期借入金について
- ・寄付行為の変更について
- ・資産の運用について
- ・評議員／役員の選任について

○第2回理事会／評議員会（書面表決 平成19年11月22日議決）

- ・平成19年度収支補正予算について
- ・評議員／理事の選任について

○第3回理事会／評議員会（平成20年3月24日 万代島ビル11階会議室）

- ・平成19年度収支補正予算について
- ・平成20年度事業計画について
- ・平成20年度収支予算について
- ・設備購入資金及び設備資金貸付金の借入について
- ・寄付行為の変更について
- ・評議員／役員の選任について

### 2 企画運営委員会の開催状況

○NICO 企画運営委員会（平成20年3月14日 万代島ビル6階会議室）

- ・NICO のこれまでの取組について
  - ① NICO のミッション
  - ② 中期目標の達成・進捗状況
  - ③ 主な支援事業
  - ④ 主なプロジェクトの進捗状況等
- ・今後の取組について
  - ① 平成20年度事業体系（案）
  - ② 平成20年度重点事業の概要
  - ③ 主なプロジェクトの今後の展開

## II 第2期中期目標の進捗状況

### 1 創業・経営革新の促進に関する目標

項目	指 標	中期目標 (H20年度)	19年度目標	19年度実績	19年度達成率
(1) 創業・新分野進出企業					
	新規創業や既存産業からの第二次創業、 新分野進出等を行った企業	100	50	54	108.0%
(2) 育成・支援企業					
	NICOが育成・支援した企業等	1,000	500	708	141.6%
(3) 利用企業等					
	NICOを利用した企業等	15,000	7,500	9,932	132.4%
(4) 支援企業の評価度					
	利用企業等	毎年 75%以上	75%以上	今後アンケート調査にて 把握	

#### 参考) 県産品の販路拡大

指 標	中期目標	19年度目標	19年度実績	19年度達成率
新規商品アイテム数新規の発掘・育成	100	50	51	102.0%
物産展の新規出展件数	10	5	5	100.0%

### 2 次代をリードする産業群の創出に関する目標

項目	指 標	中期目標 (H20年度)	19年度目標	19年度実績	19年度達成率
(1) 健康・福祉・医療関連ビジネスの創出					
	研究開発・事業連携等の新規取組の発 掘・育成	10	5	8	160.0%
(2) 「超高压」技術関連の“標準化”による市場創造					
	ネットワークに参画する企業・研究者	80	75	61	81.3%
(3) マグネシウム合金加工関連産業の育成強化					
	技術確立の研究開発の新規取組の発掘・ 育成	10	5	3	60.0%
(4) 戦略的産業人材の育成					
	県内企業のシステム開発受注新規	30	5	11	220.0%
(5) 「百年物語」ブランドの構築					
	新規商品アイテム数	30	15	16	106.7%

### Ⅲ 事業報告

#### 主なトピックス

##### ○「にいがた産業夢おこし基金」を創設、助成金事業を開始

技術開発支援を中心に、中小企業の経営革新を促進することによって、新潟県「夢おこし」政策プランの目標の一つである「産業の高付加価値化」を図ることを目的に、総額 125 億円（年間事業費約 2 億円）の基金を創設した。これにより「わざづくり支援事業」の支援メニューを拡充するとともに、採択時期に関わらず事業実施期間を 1 年間とすることができるようになったため、企業にとっての使い勝手も格段に良くなった。

##### ○新潟県信用保証協会との提携保証「ニコットⅠ・Ⅱ」、金額・対象とも拡大

保証対象事業として、これまでの「ゆめわざもの支援助成金」、「にいがた・ニュー・エジソン育成助成金」に加え、「スーパーわざづくり支援助成金」、「かんばんづくり支援助成金」、「建設企業新分野進出助成金」の各事業にも保証対象を広げた。これに伴い、保証限度額も 1 千万円から 2 千万円に拡大した。

##### ○スズキ本社で「にいがた新技術・新工法展示商談会」を開催

トヨタ、ソニー、日立、日産に続き、19 年度はスズキ（本社浜松市）に対して、素材・プレス・金型などの優れたモノづくりの技術力を積極的にアピールした。スズキ株式会社の協力のもと、社内のエンジニアをはじめ、協力会社など 770 名が来場し、会場内は大変なにぎわいをみせた。既にサンプル出荷など、具体的な動きが見え始めている。

##### ○表参道・新潟館ネスパス、初年度売上目標を大幅に上回り達成

新潟の「食」をテーマにリニューアル・オープンしてから 1 年が経過した。年間の売上額は、目標を 12% 上回る 3 億 3600 万円を達成した。入館者数も年配の客層やリピーターが多く、年間で 90 万人を越えた。

##### ○新潟県地域結集型研究開発プログラムが始動

JST（独立行政法人科学技術振興機構）に採択された「新潟県地域結集型研究開発プログラム」が平成 20 年 1 月から始動した。

今後 5 年間にわたり、「食の高付加価値化に資する基盤技術の開発」をテーマに高压技術を核とした食品加工技術や高压装置の開発を進め、県内産業の活性化を目指す。

## 1 チャレンジする企業等の発掘・育成

### (1) 支援体制整備

新事業育成メンターやアドバイザーを中心とした、各分野の専門家からなるブレンネットワークを活用して、企業に対するきめ細かな助言・指導、事業計画の評価などを実施した。このほか、県内の産業支援機関とのネットワークを維持・拡大し、相談案件の発掘などに取り組んだ。

#### ①ブレンネットワーク活用

経営・マーケティング等の知見に富む外部人材のネットワークを活用し、中小企業からの様々な相談に対して適切な助言やコーディネートを行ったほか、中小企業の経営革新や創業の計画・取組に対する評価・指導を実施した。

○支援会議（開催日数 31 日）における評価・指導件数 207 件

○新事業育成メンター・アドバイザー等による相談 129 社（260 件）

○その他のブレンの活用

相談 5 社（13 件）、審査委員やアドバイザーとしての活用 8 件

○専門家派遣

NICO に登録している外部専門家を継続的に派遣し、中小企業が抱える様々な課題の解決に向けた適切な診断・助言を行った。また、利用者の利便性向上のため速やかな派遣対応を行った結果、派遣した企業は 56 社（254 回）となった。

#### ②関係機関連携

県内の商工会・商工会議所などの支援機関や自治体との連携を強化し、相談案件の掘り起こしに努めたほか、全国の支援機関等との情報交換や事業の活用などに努めた。

○県内支援機関との連携

・新潟県信用保証協会との連携保証制度（ニコット I・II）の拡充

新潟県信用保証協会との提携による信用保証制度で、これまでは「ゆめ・わざ・ものづくり支援補助金」と「にいがた・ニュー・エジソン育成補助金」の交付決定を受けた中小企業者を対象にしていたが、その保証対象事業を拡充するとともに、保証限度額を 1 千万円から 2 千万円に引き上げた。

・地域での NICO 事業説明会等の開催・講師の派遣

商工会・商工会議所や金融機関等の開催する研修会などにおいて、NICO 事業等の説明などのために職員を派遣した。

回数 24 回、延べ参加者数 1,085 名

・関係機関との共同開催事業

地域資源活用セミナー（平成 19 年 6 月 22 日、参加者 46 名）

新潟県県央地場産業振興センターとの共催

- ・新潟県新事業支援機関連絡協議会の開催（平成 20 年 3 月 26 日）

県内の産業支援機関の支援策等の情報交換を行い連携を強化することを目的とした会議を開催

○中小企業基盤整備機構等との連携

- ・中小企業基盤整備機構の「販路開拓コーディネート事業」の活用による中小企業の新商品の販路開拓支援（参加企業 5 社）
- ・NICO 内に配置のサブマネージャーとの連携による「異業種連携新事業分野開拓（新連携）」の取組促進

③起業化支援・交流拠点施設管理事業

県施設「起業化支援・交流拠点施設（NICO プラザ）」の管理運営を指定管理者として県から受託し、主に情報通信産業等における創業者を育成・支援するための創業準備オフィスのほか、会議室などの管理運営を行った。

(2) ビジネス情報提供

タイムリーなテーマ設定での各種セミナーや実践的な連続講座の開催により、企業の新たな取組を促進するとともに、ホームページやメールマガジン、機関誌「NICO プレス」などを活用して役立つビジネス情報等の発信を行った。

①セミナー等開催事業

○セミナーの開催

- ・社長塾オープニングセミナー（平成 19 年 4 月 17 日、参加者 17 名）
- ・創業“夢づくり”セミナー（平成 19 年 9 月 4 日、参加者 44 名）
- ・事業承継セミナー（平成 19 年 10 月 10 日、参加者 40 名）
- ・防災・救災産業研究会セミナー（平成 19 年 12 月 14 日、参加者 27 名）
- ・省エネセミナー（平成 20 年 3 月 24 日、参加者 27 名）

○講座の開催

- ・社長塾（全 6 回、参加者 10 名）  
売上増を図るための徹底的な考察・議論を通じて経営革新に挑戦する塾
- ・実践！ 広報力パワーアップ講座（延べ 7 回、参加者計 59 名）  
受講企業の多くは県内外のメディアに掲載される人気講座
- ・起業家養成“夢”講座（6 回コースを 2 クール、参加者計 10 名）

②NICOクラブ運営事業

当機構の目的・活動に賛同する者で構成する会員制クラブを運営し、会員に対しては機関紙 NICO プレスの送付やセミナー開催等を通して、企業経営に役立つ情報の提供や会員相

互の情報交換を行うとともに、会員の拡大に努めた。

- ・ 会員数 924 人（平成 20 年 3 月末現在、前年度比 56 名増）
- ・ クラブセミナーの開催（3 回、参加者計 619 人）
- ・ 研究会・勉強会活動の支援  
実践！ 広報力パワーアップ講座（会員限定開催 3 回、参加者計 24 名）

### ③にいがた産業創造機構情報受発信

企業活動に有用な情報（技術開発、市場動向、販路拡大など）を効果的に発信し、企業経営を支援するとともに、NICO の支援事業の利用促進を図るため、NICO の活動内容や支援企業の取組を県内外に向け広報した。

○マスコミへのニュースリリース件数：59 件

○マスコミ掲載件数：622 件

新聞 528 件（うち NICO 事業関連 134 件、支援企業に関するもの 97 件）

テレビ、雑誌等 94 件

○機関誌 NICO プレス、パンフレット等の自主媒体による情報発信

○ホームページのリニューアル

○NICO 事業の新聞広告：17 回

○メールマガジンの配信：48 回

## 2 創業・経営革新の促進

### (1) 企画開発支援

創業や新技術・新商品の開発等に関する経費の一部を助成するほか、専門家による助言・指導等により、創業や新分野進出、事業の高付加価値化の取組を支援した。

#### ①創業チャレンジ応援事業

##### ア. にいがた・ニュー・エジソン育成事業

独創的な技術やアイデアをもとに県内で創業しようとする起業家に対して、創業期に必要な経費の一部を助成した。

	採択企業名	所在地	テーマ	認定
1	コマスマーケティング㈱ 代表取締役 今井 進太郎	新潟市	子育て世帯会員組織「トキっ子くらぶ」を活用したマーケティングビジネス	新規
2	入澤 恵	小千谷市	泳ぐ宝石“日本の国魚”錦鯉発祥の地 小千谷錦鯉の Web 販売及び店舗販売	新規
3	㈱ATR ヤマト 代表取締役 吉田 宗玄	燕市	日本製小型航空機 (LSA) の開発・製造・輸出版売プロジェクト	新規
4	㈱リアル 代表取締役 関 智征	新潟市	Web 上の擬似仮想空間“セカンドライフ”の参入・構築・運営支援事業	新規
5	㈱プレス・ユー 代表取締役 宇野 可奈子	新潟市	薬の2次情報の作成とデータベースシステムの販売 医薬品の添付情報や、医薬品の組み合わせに関する情報などの提供。	2年 度目
6	(有)イーポート 代表取締役 塚本 智春	新潟市	インターネット専業の広告代理店 ターゲティングに優れた広告媒体であるインターネットに特化した広告代理業。	2年 度目
7	(有)タブロ 代表取締役 羽賀 正明	新潟市	デザイン集団ビジネス ー感動させる「たくさん&ユニーク」(大量生産とオリジナリティ)の実現ー 大量の仕事をこなすチームと、オリジナリティを考えるチームが共存するデザイン集団が紙媒体のデザインを制作。	2年 度目
8	㈱NIC 代表取締役 中林 宏重	新潟市	工業製品等の輸出業務マッチング 国内企業と米国 Whirpool 社とのビジネスマッチング	2年 度目
9	㈱エヌトライブ 代表取締役 井上 一郎	新潟市	新潟でメジャーアーティストの育成～輩出 新潟出身のアーティストを発掘し音楽制作を新潟で行う。	3年 度目
10	(有)WEBE 取締役 谷 和彦	新潟市	動画セレクトショップ 新潟のまだまだあまり知られていない逸品を動画を用いた通販WEBサイトを通して紹介	3年 度目
11	㈱北越通商 代表取締役 風間 宏	新潟市	RPF 及びリサイクル資源輸出入業 RPF (産業廃棄物を再利用した新燃料) の中国向け輸出	3年 度目

・採択後の状況（売り上げ計上の割合）

18年度採択の4件について、市場調査や販売先とのマッチングなどのフォローアップを行った結果、19年度中に3件が売上を計上することができた。

## ②中小企業新事業活動促進事業

### ア. ゆめ・わざ・ものづくり支援事業

新技術開発や新商品開発にかかる経費の一部を助成した。

#### ○ゆめづくり支援助成金（事業シーズを企業化に結びつける企画・調査等への支援）

	採択企業名	所在地	テーマ
1	(株)ネオス	長岡市	オリジナル透かし和紙及び立体成形和紙の各種商品開発
2	コデラカブロン(株)	三条市	銅繊維の除菌効果と加工率で新たな知財創出
3	(株)ハニーインターナショナルワープ事業部	見附市	ユニフォーム対応型新防汚システムの開発調査
4	(株)和光測器	新潟市	急傾斜地や地滑りの計測方法及び計測装置の開発
5	(株)新潟県厚生事業協同公社	長岡市	高圧、加熱処理(レトルト)を利用したリネン類の完全滅菌技術の開発
6	丸正ニットファクトリー(株)	見附市	新オゾン処理によるウールニットの防縮加工性能調査

#### ○わざづくり支援助成金（新技術の開発・試作）

	採択企業名	所在地	テーマ
1	田辺建設(株)	上越市	スギ間伐材を主原料とする高温・高濃度 Nox・ばい煙浄化複合材料の創成とその実用化
2	瑞徳医科工業(株)五泉工場	五泉市	脳神経外科手術用インプラント(脳動脈瘤手術クリップ)の高精度/低コスト製造技術の開発
3	(有)田辺塗工所	新潟市	水圧転写時の抱泡及び加工困難形状物の解決と低コスト製法の確立
4	(株)ゴーナイエレクトク	村上市	SMD 自動入出庫装置の開発
5	(有)金丸整理工業	見附市	経糸巻き取り装置とインクジェットプリントによる新規経糸捺染織物の開発
6	越後製菓(株)	長岡市	小型で低恒温の制御が可能な中低静水圧処理装置の開発
7	北越環境(株)	新潟市	廃石膏ボード紙、分離システムの改造と開発
8	新井工業(株)	妙高市	耐熱合金の塑性加工研究
9	シンコー電気(株)	魚沼市	LED 基板用サファイア単結晶の開発
10	(株)NIC	新潟市	高硬度フィルムのインサート成形品への応用技術の開発
11	(株)サクライ	燕市	親水性をもった無機質系塗料の陶器・ガラスへの焼付塗装技術の開発

#### ○ものづくり支援助成金（独自の技術やアイデアによる画期的商品の開発）

	採択企業名	所在地	テーマ
1	(株)ナカヤ	三条市	集じんカッターカバーの開発
2	アルテライン	五泉市	弾性エラストマー樹脂の物性を生かした膝用ユニバーサルデザインサポーターの開発
3	(有)金子編物	出雲崎町	良寛シルクを使った肌着の開発
4	(有)井出計器	糸魚川市	温度データコントローラーの開発及び試作品の作成

5	(有)大塚金属工業	長岡市	金物加工技術を応用した新農業用自在ミニハウスの開発
6	(株)ごはん	津南町	水田除草機
7	(株)環境システム開発	新潟市	高性能に油を除去するグリーストラップ技術の開発
8	リュウド(株)	十日町市	携帯ショップ向け小型キオスクの開発
9	(株)大沢加工	魚沼市	「大根立て」の復活による冷熱(雪)利用の雪中保存から「切干し大根」の製造
10	(有)竹内快速鋸	三条市	刃研ぎに苦勞しない小鎌の開発
11	(有)きっかわ	村上市	廃棄鮭を生かして作る「極上の鮭スープ開発プロジェクト」
12	小林製作所	長岡市	医療用バイポーラピンセットの試作

・採択企業の事業化（実用化）の割合

平成13年度～17年度の採択事業の事業化（実用化）率は、18年度末時点で54%であった。

### イ. 新連携ゆめづくり支援事業

異分野の中小企業等がお互いの経営資源を持ち寄り、新商品・新技術・新サービスの事業化を図るための連携体の構築に係る経費の一部を助成した。

	採択企業名	所在地	テーマ
1	(有)エコ・ライス新潟	長岡市	イネの新潟在来種の復活による清酒醸造等と食用としての商品開発
2	星野(株)	新潟市	新潟式ネオドライフラワープロジェクト
3	(株)エコロジープロジェクト新潟	新潟市	廃食用油再生燃料化プラントの実証実験から基本システム構築事業

### ウ. スーパーわざづくり支援事業

公設試験研究機関等との連携で、新規性の高い高度な技術開発事業に取り組む企業に対して、その経費の一部を助成。

該当なし

### エ. かんぱんづくり支援事業

地域や企業の看板となる事業の構築のために行う商品企画から商品開発、販売プロモーションまでの一貫した経営革新事業に要する経費の一部を助成した。

	採択企業名	所在地	テーマ
1	(株)サンシステム	長岡市	滅菌管理システムの開発
2	見附染工(株)	見附市	機能加工を付与した濃染ブラック商品の拡大
3	吉澤織物(株)	十日町市	吉澤与一ブランドの新商品開発とWebショップによるダイレクト販売システムの構築

### オ. 経営革新支援事業

中小企業者が行う新たな取組による経営の向上を支援するため、県からの受託により、現地調査等を含めた計画作成支援のほか、審査会の運営及びフォローアップを実施した。

**カ. 建設企業新分野進出等支援事業**

建設企業が新分野に進出するために取り組む調査事業や技術開発、製品開発事業に必要な経費の一部を助成した。

	採択企業名	所在地	テーマ
1	上越建設工業(株)	上越市	循環型社会を目指した、廃瓦の再資源化、リサイクル構築の可能性調査、販売プロモーション
2	岡田土建工業(株)	妙高市	農業事業への進出のためのマスタープラン作成
3	進展工業(株)	新潟市	地球環境にやさしい有機性廃棄物の炭化プロジェクト
4	伊藤建設(株)	佐渡市	農業部門への進出に向けた農業の技術・研究開発及び販売市場調査
5	(株)笠原・工機	新潟市	宅内枘設置立杭掘削機の開発
6	(株)西栄建設	長岡市	既存設備を有効利用した魚の養殖業の展開
7	第四電設(株)	長岡市	LED 照明機能を内蔵した「光る手摺り照明」の市場拡大のためのプロモーション活動及び施工バリエーション追加に向けた改良事業

**③外部人材による新ビジネス展開支援事業**

マーケティング能力・マネジメント能力等を有する外部人材を活用し、新事業展開・新分野進出に取り組む中小企業者に対して、その人件費の一部を助成することにより、マーケットを重視した商品開発・販路開拓を支援した。

○付加価値創造重視枠

	助成企業名	所在地	テーマ
1	丸正ニットファクトリー(株)	見附市	海外生産によるニット製品の販路拡大と海外生産品の品質検査及びリサイクル加工事業
2	(株)プロデュース	長岡市	ロボットを軸としたメカトロ技術装置の開発による新製品開発及びその市場開拓・販売
3	(株)プロテックエンジニアリング	聖籠町	斜面防災商品の森林保全事業への展開

○総合重視枠

	助成企業名	所在地	テーマ
1	(株)グリーンエナジー	十日町市	紙おむつ専用焼却炉・処理サービスの事業化
2	(株)日本フードリンク	新潟市	高齢者向けケータリングサービス事業の構築
3	(株)八海山	南魚沼市	日本酒市場における八海山の事業継続
4	岡田土建工業(株)	妙高市	自然調和環境土木工事システム
5	(株)ジャパン・ベースボール・マーケティング	新潟市	独立リーグの拡充
6	酒井メリヤス(株)	見附市	新販路開拓及び自社商品企画のための人材育成事業
7	山崎金属工業(株)	燕市	日本食関連新商品の開発による販路開拓
8	(株)アイ・シー・オー	新潟市	戦略的教育・商品広報及びブランド構築のためのコンサルティング事業

9	まつや(株)	新潟市	米加工のノウハウを時代のニーズに反映させた新規商品開発と拡販
---	--------	-----	--------------------------------

・採択企業のフォローアップ

事業計画の実現可能性を高めるため、中間報告会を実施し、事業の進捗状況や目標の達成度合いなどについての報告を踏まえ、アドバイスを実施した。

④にいがたエンジェルネットワーク（NAN）

新潟経済同友会の提言によって設立された会員制組織である「新潟エンジェルネットワーク」の事務局として、新規創業者や新事業展開を行う企業に対して、投資家などが機動的に資金提供を行える出会いの場を提供した。

当ネットワークにおいて、マッチングの場である「事業発表会」を6月と10月に開催し、起業家3者、中小企業4社が事業計画のプレゼンテーションを行った。

⑤IT経営応援隊

県内中小企業の競争力強化を目指し、関係機関やITコーディネーター等の専門家、中小企業団体、金融機関などが連携し「新潟IT経営応援隊」を組織して、以下の中小企業のCIO育成や戦略的なIT投資計画策定に関するセミナー・研修会を開催し、県内企業の経営革新のためのIT活用を促進した。

ア. 研修会事業

- ・経営革新研修会Ⅰの開催（企業経営者対象5回）
- ・経営革新研修会Ⅱの開催（ITベンダー対象1回）

イ. 個別支援事業

- ・個別ガイダンス（ハンズオン支援に向けた事前ヒアリング等21社）
- ・ハンズオン支援（経営戦略企画書及びIT経営企画書の作成支援12社）

ウ. セミナー事業

- ・普及啓発セミナーの開催（2回）
- ・タイアップセミナーの開催（5回）
- ・ワークショップ（成果報告会）の開催（1回）

（2）市場拡大・事業化支援

新商品開発、新事業展開における企画・開発から販売までの各段階に応じて、必要な支援を提供し、マーケティング活動を総合的に支援した。

①マーケティング支援事業

ア. 市場トレンドワークショップ

最新の市場動向やトレンド情報を提供し、生活者視点に立った商品開発に対する意識付けを行った。

- ・参加者：食品関係 4社、生活用品関係 5社  
うち、4社が具体的な商品企画の策定まで行えた。

#### イ. 商品開発、流通開発ラボ

デザイナー等専門家の協力のもと、商品企画・開発、デザイン開発のための指導を実施した。

- ・指導企業数 36社（延べ回数 83回）

#### ウ. モノコレ・プロモーション事業

日本橋 NICO プラザ#2等の活用により、展示・商談のほか、実売も行うセールスプロモーション支援を実施した（延べ参加企業数 55社）。

- ・『百年物語』帰国展
- ・『mono・Collection2007』（3回）

#### エ. にいがたデザインコンペティション

提案性の高いオリジナリティのある作品を募集し、優秀な作品を表彰する。各分野の専門家が審査・助言することにより、魅力ある商品・システムづくりを支援するとともに、流通業界や生活者に向けてアピールした。

募集テーマ：「生活ブランドの確立（Mono & System）をめざして」

- ・一般公開 平成 20 年 1 月 25 日～27 日
- ・会場 新潟県県央地域地場産業振興センター、来場者数 1,025 人
- ・出品企業数 58 社（出品数 70 点）
- ・審査委員長 豊口 協（長岡造形大学理事長）
- ・受賞作品等

##### IDS 大賞

健康者・食事制限者が安心な保存食と土への循環リサイクル「はんぶん米」  
(有)エコ・ライス新潟（長岡市）

##### IDS 準大賞

無動力ペレットグリルヒーター「きりん君」、無動力ペレットストーブ「らくだ君」  
(有)さいかい産業（新潟市）

##### IDS 賞（MONO 部門）

段で暖 Dan de Dan（紙製靴乾燥補助具）：安達紙器工業(株)（長岡市）

「かしこ」鮎：(株)紅屋重正/ブランドロジスティクス(有)（長岡市）

膝用ゲルパット装着サポーター：アルテライン（五泉市）

鰹節削り器（鰹箱）：(有)高三（三条市）

##### IDS 審査委員賞

RETROFIT COMPRESSOR：(株)諏訪田製作所（三条市）

「卓上の苔庭」ブロックコンポ：(有)苔匠

マルチファンクションジョイント鋳鉄製 耐震性継手：有限責任事業組合パイプシステムジャパン  
竹内式包丁研ぎ器：(有)竹内快速鋸（三条市）  
医療用スキンステープラー：ケイセイエンジニアリング(株)（燕市）  
防災 LED スタンドライト：ツインバード工業(株)（燕市）  
IDS 特別賞（株）諏訪田製作所（三条市）

## ②取引連携推進事業

### ア. 取引の紹介・斡旋や苦情処理

- ・下請取引に関する相談件数 633 件
- ・取引成立件数 52 件、取引成立金額 231,049 千円

### イ. 下請取引に関する苦情・紛争の処理

下請代金法に基づいた問題解決を図るための個別対応を実施した。

### ウ. 受発注に関する情報の収集・提供

- ・県内受発注動向調査の実施（平成 19 年 9 月）
- ・県外発注開拓アンケートの実施（平成 19 年 12 月）
- ・受注企業ガイドブックの作成・配布
- ・受発注ニュースや受注企業情報をインターネットにより提供

### エ. 展示商談会の開催、出展の支援等

#### ○機械要素技術展

開催期間：平成 19 年 6 月 27 日～29 日

出展企業 49 社（39 小間）、来場者数 82,515 名

商談件数 53 件、成約件数 29 件 58,068 円（平成 20 年 3 月 30 日現在）

#### ○ネコンワールド・ジャパン（インターネコンジャパン&国際電子部品商談会）

開催期間：平成 20 年 1 月 16 日～18 日（東京ビッグサイト）

出展企業数 18 社（16 小間）、来場者数 54,793 人

商談件数 123 件、成約件数 3 件 550 千円（平成 20 年 1 月 31 日現在）

#### ○スズキ(株)「こいがた新技術・新工法展示商談会」

開催期間：平成 20 年 3 月 18 日～19 日（スズキ(株)本社内・浜松市）

出展企業数 37 社・2 大学・1 団体、来場者数 770 人

商談件数 12 件、成約件数 5 件 30 千円（平成 20 年 3 月 24 日現在）

#### ○ビジネスマッチング事業

（財）東京都中小企業振興公社と連携し、県内中小企業 10 社の技術・製品等について首都圏企業等に対するマッチング活動を実施した。

#### ○危機管理産業展

開催期間：平成 19 年 10 月 17 日～19 日（東京ビッグサイト）

出展企業数 6 社（6 小間）、来場者数名 76,292 人

商談件数 27 件、成約件数 28 件 10,306 千円（平成 20 年 4 月 30 日現在）

○こだわり食品フェア 2008（スーパーマーケット・トレードショーと併催）

開催期間：平成 20 年 2 月 20 日～22 日（東京ビッグサイト）

出展企業数 10 社、来場者数 75,052 人

商談件数 80 件（予定件数を含む。）

成約件数 6 件 113 千円（平成 20 年 3 月 25 日現在）

○大阪健康関連商品開発商談会

開催期間：平成 20 年 1 月 29 日～30 日（大阪産業創造館）

出展企業数 5 社、来場者数 204 人

商談件数 42 件、成約なし（平成 20 年 2 月 29 日現在）

### （3）経営改善支援

中小企業が経済社会環境の変化などに対応し、その企業活動を継続・拡大するために必要となる経営資源の補完や、経営基盤の着実な強化のための支援を行った。

#### ①設備貸与・設備資金貸付事業

##### ア．設備貸与事業

小規模企業の生産性の向上等、経営基盤強化を支援するため、長期かつ低利な割賦販売・リースを行った。

○申込・決定状況 （金額単位：千円）

制度枠	事業額 (A)	申 込 状 況			決 定 状 況			
		件数	金額	対前年 比率%	件数	金額(B)	比率% B/A	対前年 比率%
割 賦	200,000	17	234,624	140.1	11	101,286	50.6	133.9
リ ー ス	200,000	13	122,489	104.2	12	109,364	54.7	105.0
合 計	400,000	30	357,113	125.3	23	210,650	52.7	117.1

○業種別申込・決定状況 （金額単位：千円）

業 種 名	申 込 状 況			決 定 状 況		
	件数	金 額	比率%	件数	金 額	比率%
建 設 業	2	23,549	6.6	1	14,595	6.9
製 造 業	25	306,370	85.8	20	183,861	87.3
小売・卸売業						
サービ業	3	27,194	7.6	2	12,194	5.8
そ の 他						
合 計	30	357,113	100	23	210,650	100

## イ. 設備資金貸付事業

小規模企業の生産性向上等、経営基盤強化を支援するため、設備の導入に際して無利子貸付を行った。

○申込・決定状況 (金額単位：千円)

事業額(A)	申 込 状 況			決 定 状 況			
	件数	金額	対前年 比率%	件数	金額 (B)	比率 B/A%	対前年 比率%
900,000	49	717,210	150.1	39	613,360	68.2	141.5

○業種別申込・決定状況 (金額単位：千円)

業 種 名	申 込 状 況			決 定 状 況		
	件数	金 額	比率%	件数	金 額	比率%
建 設 業	9	95,520	13.3	9	82,060	13.4
製 造 業	32	556,660	77.6	28	504,020	82.2
小売・卸売業	2	14,600	2.0	1	8,100	1.3
サービ業	6	50,430	7.1	1	19,180	3.1
そ の 他						
合 計	49	717,210	100	39	613,360	100

## ウ. 県単設備貸与事業

平成14年度までに設備の貸与を受けた企業に対して、貸与した設備の稼働状況及び債権管理等を目的とした事後指導を実施した。

巡回企業数 18社

## ②団地・商店街経営改善支援事業

### ア. 中小企業高度化事業に係る診断受託事業

商店街や共同店舗組合が行う高度化事業に対する診断を10件行った。

また、工業団地組合などが行う高度化事業に対する診断を7件行った。

### イ. 中心市街地商業活性化事業

中心市街地活性化基金の運用益に県補助金を加えた額を財源に、タウンマネージメント機関（TMO機関）が行うソフト事業に対して経費の一部を助成した。

・助成先：新潟商工会議所2件

## ③企業再生支援事業

企業再生に意欲を持つ中小企業者に対して、経営上の相談に応じ、課題解決に向けた適切なアドバイスを行ったほか、事業の見直しや金融機関との調整などによって再生の可能性がある場合に、事業再生計画の策定支援などを行った。

- ・事業再生計画の策定支援完了件数 3 件（このほか策定中の件数 5 件）
- ・経営相談件数 156 件（新規相談企業 55 社）

このほか、企業向けの経営革新セミナーと、企業再生人材育成のためのセミナー・勉強会を開催した。

- ・経営革新セミナーの開催（企業経営者向け）  
開催日：平成 19 年 7 月 11 日（長岡市）、17 日（新潟市）、18 日（上越市）  
参加者数計 139 名
- ・企業再生・経営革新セミナー（専門家・機関向け）  
開催日：平成 19 年 4 月 14 日、6 月 16 日、7 月 7 日  
参加者数計 258 名
- ・企業再生・経営革新セミナー（事例研究編）  
開催日：平成 19 年 12 月 1 日、平成 20 年 1 月 26 日、2 月 23 日  
参加者数計 170 名

#### （４）県産品販路拡大支援

地域の特色ある資源を活かした地域産品を発掘するとともに、首都圏での商談会や全国有名百貨店における物産展の開催などにより、県産品の普及宣伝を行い、販路拡大を支援した。

##### ①首都圏市場開拓支援事業

流通ルート開拓のため、バイヤーへのアプローチ活動 27 件を行い、物産展の新規開拓 7 件に結びつけた。また、首都圏にて地域産品商談会を計 12 回開催、一般への PR・販売も兼ねて商談の場を提供した。

- ・食品関係（ネスパスにて計 9 回）  
商談数 36 件、商談成立 23 件（14,497 千円）、販売額 10,618 千円
- ・生活関連商品（日本橋 NICO プラザにて計 3 回）（再掲）  
商談数 8 件、商談成立 2 件（506 千円）、販売額 1,497 千円

##### ②物産展開催事業

全国各地及び県内の百貨店での「新潟物産展」開催を通じて、県産品の一層の販路拡大を支援した。また、首都圏で商談会機能を充実させた大規模な物産展を開催した。

- ・県外物産展：44 会場（うち 5 会場は新規）、売上額約 970 百万円
- ・県内物産展：2 会場、売上額約 46 百万円
- ・大新潟物産展（平成 19 年 11 月 1 日～4 日）  
会場：東京ドームシティ・プリズムホール  
出展：92 社、来場者数：72,000 人、売上額：100,694 千円（期間中）

### ③地域産品発掘、流通支援

地域産品支援会議を2回（7月・1月）開催し、全国的には知られていない地域の逸品（28社・51品目）を支援商品として決定し、地域産品紹介冊子「新潟じるし」に掲載（2回発行：9月・3月）、全国の流通バイヤーに発信して、新たな販路の開拓を支援した。

## （5）首都圏展開支援

平成18年12月に「食」を中心にリニューアル・オープンした表参道・新潟館ネスパスの物販機能やイベントスペース、日本橋・にいがた館NICOプラザ#2の展示交流スペースを活用して、県産品の販路拡大を支援した。

また、首都圏ビジネスの活動拠点としてオープンオフィスを提供し、県内企業の首都圏展開を支援した。

### ①首都圏情報発信事業

ネスパスニュース、メールマガジンの定期発行や各種媒体を通じて新潟の魅力と食情報を発信し、新潟のイメージアップに努めたほか、首都圏の消費者動向を県内事業者にフィードバックした。

また、県産品販売・飲食提供事業運営委員会を3回開催し、物販・飲食提供サービスの向上に努めた。

○各種イベントの実施（イベントスペースの活用）

・63回、約200団体・業者が参加したイベントを開催

・料理研究家を講師とした料理教室を開催

各回25名参加×10回（延べ250名参加）

・にいがた楽講座の開催（参加者約50名）

○ネスパスニュース：隔月発行（毎回13,000部）

○メールマガジン：月2回配信（購読者数7,000人）

○販売等の状況（リニューアル後1年間：H18.12～H19.11）

物産販売額 263,919千円

飲食販売額 73,035千円 合計 336,954千円

年間売上額目標3億円に対する達成率112.3%

入館者数 906,134人（対前年同期比245.4%）

### ②日本橋NICOプラザ運営事業

日本橋・にいがた館NICOプラザ#2を運営し、首都圏での県内企業の活動拠点として活用した。

・オープンオフィスの運営

長期ブース（レンタルオフィス）8社入居（入居率94%）

・展示交流スペースの運営

利用日数 326 日（稼働率 95.9%）、利用件数 74 件、入場者数 延べ 129,294 人

**（6）国際展開支援**

海外見本市での出展支援やブースの設置、海外コンサルタントの活用等により、県内企業の国際ビジネス展開を総合的に支援した。

**ア．海外見本市**

- ・台湾ギフト・文具見本市（春展）（台湾・ギフト）平成 19 年 4 月 21 日～24 日  
出展企業 15 社、商談数 52 件、商談成立なし（開催期間中、以下同じ）
- ・タイフェックス 2007（タイ・食品）平成 19 年 5 月 23 日～27 日  
出展企業 6 社、商談数 11 件、商談成立 2 件 1,000 千円
- ・ハルビン国際経済貿易商談会（中国・全商品）平成 19 年 6 月 15 日～19 日  
出展企業 20 社、商談数 452 件、商談成立 41 件 6,500 千円
- ・フード台北 2007（台湾・食品）平成 19 年 6 月 21 日～24 日  
出展企業 9 社・団体、商談数 270 件、商談成立 15 件 9,200 千円
- ・ツールテック（韓国・工具）平成 19 年 10 月 18 日～20 日  
出展企業 12 社、商談数 256 件、商談成立 4 件 36,750 千円
- ・台湾ギフト・文具見本市（秋展）（台湾・ギフト）平成 19 年 10 月 24 日～28 日  
出展企業 17 社、商談数 141 件、商談成立 2 件 4,500 千円
- ・上海新潟県産品展示商談会（中国・食品）平成 19 年 11 月 14 日～16 日  
出展企業 2 社、商談数 70 件、商談成立なし
- ・上海新潟県産品展示商談会（中国・最終消費財）平成 19 年 11 月 19 日～20 日  
出展企業 13 社、商談数 129 件、商談成立 15 件 2,000 千円
- ・タイ日本食品フェア 2007（タイ・食品）平成 19 年 12 月 6 日～9 日  
出展企業 7 社・団体、商談数 14 件、商談成立 3 件 1,500 千円
- ・上海華東交易会（中国・消費財）平成 20 年 3 月 1 日～5 日  
出展企業 9 社・団体、商談数 90 件、商談成立なし

**イ．貿易実務講座**

初級講座（2 会場、各 2 日間） 参加者延べ 135 名  
中・上級講座（新潟 4 日間） 参加者延べ 26 名

**ウ．海外見本市等出展事業補助金**

企業・団体が自ら出展・主催する海外見本市・商談会に対して補助を行った。  
補助件数：12 件

#### エ. 上海コンサルティングサービス

上海のコンサルタント会社との委託契約により、県内企業の要望に応じた調査を行い、その費用の半額を助成した。

調査件数：10件（5社・団体）

#### オ. ビジネスコーディネーター設置

中国のハルビン、大連、北京、青島、上海、香港及び台湾の台北、韓国といったアジアの主要都市に、現地人等のコーディネーターを計17名配置し、支援体制を構築した結果、県内企業・団体の依頼に基づき、23件の海外ビジネス支援を実施した。

#### カ. 海外事務所運営

新潟県ソウル事務所、新潟県大連経済事務所を運営し、県内企業の国際ビジネス展開を支援した。

#### キ. 海外物産展

- ・台湾台北・新潟物産展 平成19年12月13日～18日

参加14社（うち社員派遣6社） 総売上高 約1,400千円

- ・台湾高雄・新潟物産展 平成20年2月28日～3月10日

参加29社（うち社員派遣24社） 総売上高 約26,000千円

### 3 次代をリードする産業群の創出

#### (1) 産学連携促進

大学と企業のマッチングやコンソーシアムの形成、大学からの技術移転の促進など、産学連携をトータルに推進し、県内企業の技術の高度化を支援しながら、新事業創出のための基盤づくりに取り組んだ。

##### ア. 産学連携支援事業

○産学連携委員会の開催（平成 20 年 3 月 28 日）

議題：産学連携主要事業等

研究開発関連事業等

次代をリードする産業群の創出事業等

○大学発シーズプレゼンテーション

・長岡技術科学大学・長岡工業高等専門学校技術シーズプレゼンテーション in 魚沼

開催日：平成 19 年 8 月 30 日、参加者数：125 人

・大学発シーズプレゼンテーション in 新潟国際ビジネスメッセ 2007

開催日：平成 19 年 11 月 8 日～9 日、参加者数 338 人

##### イ. 産学交流研究会

研究会・交流会の参加者は年間実績で 1,651 人を数えた。

・研究会：

先進的金型研究会、にいがたナノテク研究会、ブランド・ニイガタ食品開発研究会、DME 研究会、摂食・嚥下サポート研究会、新潟県医療・健康産業創造協議会、地域結集プログラム関係会議 等

##### ウ. 産学連携コーディネート（コンソーシアム型研究促進）

企業・大学等へ訪問し、産学間のコーディネートを行った。

このうち、NICO が関わった産学連携による競争的資金の新規採択は 15 件（申請件数は 30 件）となった。

また、NICO が管理法人等となる産学連携の競争的資金の獲得は 12 件、契約金額では約 6 億 6 千万円となった。

事業名	テーマ	事業年度
人間支援型ロボット実用化プロジェクト (NEDO)	リハビリ支援ロボット及び実用化技術の開発	17～19
都市エリア産学官連携促進(発展型)事業(文部科学省)	マグネシウム合金の次世代型製品開発	19～21
地域新生コンソーシアム(経済産業省)	バイオ混合 DME 発電システムの実用化研究開発	18～19
	3次元編み技術による骨・皮膚・口腔再生医療のための新基材開発	18～19

地域資源活用型研究開発事業 (経済産業省)	越後杉の炭素化物研磨剤による次世代プリント基板 研磨技術の開発	19～20
戦略的基盤技術高度化支援事業 (経済産業省)	大型角筒形状の高精度温間プレス成形技術の開発	19～21
	全固体蓄電部品の開発	19～21
平成19年度企業導入促進対策調査研究 事業(経済産業省)	新潟地域における新事業創出可能性調査	19
産学官連携による食料産業等活性化 のための新技術開発事業 (農林水産省)	肝機能向上及び筋肉・骨増強効果を有する米タン パク質食品の開発	17～19
食品産業技術海外展開実証事業 (農林水産省)	高压処理を利用した東アジア産穀物の機能性食品 開発	19～20
東京電力受託事業	誘導加熱用鍋釜の軽量化に関する要素技術開発 研究	18～19
地域結集型研究開発プログラム (独立行政法人科学技術振興機構)	食の高付加価値化に資する基盤技術の開発	19～24

## エ. 先導的戦略研究事業（一般型）

県内に新たな高付加価値型産業群を形成するために、次代の産業を先導する技術分野における研究開発の取組として新潟県工業技術総合研究所に調査研究を委託した。

### ○研究調査テーマ

- ・次世代工作機械に求められる高度要素技術に関する研究開発
- ・新潟の匠の技を継承し発展させるための計測と制御に関する研究調査
- ・機能性材料の製造技術と用途開発に関する研究調査（吸着・脱離・触媒作用を有する新素材の活用）

また、上記委託テーマに関連するセミナーを計6回開催し、関連企業の開拓を行ったほか、関連企業の調査も実施した。

さらに、上記受託テーマに関連し、競争的資金等への申請件数（予定を含む。）が5件となっている。

## オ. 先導的戦略研究調査事業（発展型）

戦略的な技術開発に向けた研究テーマの実現可能性、技術的可能性、事業可能性等について検証するため、新潟県工業技術総合研究所に調査研究を委託した。

### ○研究テーマ： プラスチック製機能部品のナノレベル成形技術に関する研究調査

上記受託テーマに関連し、競争的資金等への申請件数（予定を含む。）が4件となっている。

## カ. 地域新生コンソーシアム等研究開発促進事業

産学官の共同研究体制（地域新生コンソーシアム）を構築し、高度な実用化研究に取り組み、地域産業の創出に貢献しうる製品・サービスの開発を行った。

### (ア) バイオ混合 DME 発電システムの実用化研究開発（平成18～19年度）

- ・研究開発の概要

エネルギー安定供給の確保や高い経済効率性を持った分散型エネルギーシステム

の構築のため、資源の多様性とクリーン性を備えた DME と、地球温暖化対策となるバイオ燃料との混合燃料を使用する発電システムを開発する。

・参加企業・機関

(独) 産業技術総合研究所、北越工業(株)、三菱瓦斯化学(株)、伊藤忠商事(株)、(株)東邦アーステック、新潟工業短期大学、茨城大学

・研究成果

バイオ混合 DME 燃料に対応した 50kW 発電機を開発した。NOx は 100ppm 以下、煤塵は排出基準の 1/10 以下、超低騒音化も達成できた。また、混合燃料の製造・供給システムを確立・実証した。

(イ) 3次元編み技術による骨・皮膚・口腔再生医療のための新基材開発（平成 18～19 年度）

・研究開発の概要

骨・皮膚・口腔領域の再生医療において、適度な強度と吸収性を持った基材の開発と細胞培養技術の向上を目的として、天然コラーゲン繊維を長繊維化し特殊三次元技術により加工した培養基材及び培養法を開発する。

・参加企業・機関

新潟大学、東伸洋行(株)、第一ニットマーケティング(株)、(株)ジェパン・ティッシュ・エンジニアリング、新潟県工業技術総合研究所（素材応用技術支援センター）

・研究実績

天然コラーゲン繊維を作成し、これを 3次元編み機にかけるための長糸化に成功し、この天然コラーゲン繊維をニット基材に編み立てる技術を見出した。

また、生体吸収性のある繊維のポリ乳酸糸を用いてニットを作成した。このポリ乳酸ニットに電子線を照射したところ、親水性が増し、骨膜細胞の付着性を向上することができた。さらに、3次元編み技術を用いて複雑形状の編み地を試作することができた。

(ウ) アグリビジネス創出技術開発（平成 17～19 年度）

・研究開発の概要

米タンパク質についての新機能性研究を活用した食品開発により、長寿健康社会実現に向けた生活習慣病予防のための栄養補給食品や高齢者用食品を開発する。

・参加企業・機関

亀田製菓(株)（主体企業）、新潟大学、新潟県立女子短期大学、新潟バイオリサーチパーク(株)、(株)三菱化学安全科学研究所

・研究成果

米タンパク質の一部は不消化で利用性が低いとされてきたが、アルカリ抽出法で精製した米タンパク質は易消化性に改善され、その利用性が高いことが判明した。また、米タンパク質の新機能性としては、肝臓機能の改善効果及び収縮期血圧の低下効果が見出された。

#### キ. 信越ハイテクコリドープラン事業

本県と長野県に係る上信越道・北陸道・関越道沿線地域の企業や大学、公設試験研究機関等が参集し、産学連携推進事業に取り組んだ。この結果、長野県企業との産産連携による製品開発の取組や、県内企業同士の産産連携が始まっている。

- ・コリドー推進会議

第1回（平成19年7月31日）

開催場所：ホテルニューオータニ長岡、参加者数：18人

第2回（平成20年1月30日）

開催場所：ホテルニューオータニ長岡、参加者数：14人

- ・リレーフォーラム in ながの 2007（平成19年10月12～13日）

開催場所：長野市ビッグハット（産業フェア in 善光寺平と併催）、参加者：37人

- ・信越コリドー交流会

第7回（平成19年8月6日～7日）

開催場所：ホテルニューオータニ長岡、参加者数：43人

第8回（平成19年11月26日～27日）

開催場所：ホテル中村屋（塩尻市）、参加者数：40人

#### ク. ナノテク研究センター運営事業

超精密・微細加工技術に関連した研究開発機器設備を、企業・大学・公設研究機関等の研究開発に活用し、ナノテク分野の研究開発とそれらを応用した高付加価値製品の開発を支援した。中でも「ナノ加工機」は、ほぼフル稼働の状態であった。

利用状況：企業等利用 250 件（1,290 時間）、大学・研究機関利用 286 件（1,760 時間）

#### ケ. NARIC運営事業

起業家や研究開発型企業を支援するため「長岡リサーチコア・インキュベーターセンター（NARIC）」の貸室を低廉な料金で賃貸するとともに、入居者と地域内公的支援機関等との情報交流会を実施した。

- ・入居企業数：9社

- ・情報交流会の開催：3回

#### コ. 特許アドバイザー活用事業

特許流通アドバイザー・特許情報活用支援アドバイザーを配置して、知的財産に関する様々な情報提供や特許契約等に関する助言を行うとともに、中小企業経営者や技術者の特許情報の活用を促進した。

- ・特許流通アドバイザーの活動：企業訪問 192 件、成約件数 13 件

- ・特許情報活用支援アドバイザーの活動：来訪指導 140 件、訪問指導 116 件、講習・講演会 40 件、普及啓発 109 件

## (2) 健康・福祉・医療関連ビジネスの創出

健康・福祉・医療関連ビジネスに関する県内企業の研究開発や産学連携、異業種連携などの発掘・育成、コーディネート活動等と通じて、事業連携や実用化研究等を促進した。

### ア. 介護予防のための筋力向上トレーニングロボットシステム研究開発(NEDO受託事業)

#### ○研究内容

- ・高齢者の筋トレを安全で効果的に実施するためのロボットを開発
- ・開発成果の実用化に向けた、高齢者を対象とした実証試験を実施

#### ○研究実施者

(株)日立製作所、新潟大学、長岡技術科学大学、新潟県立看護大学、早稲田大学、九州大学、新潟県工業技術総合研究所、東京都老人総合研究所、九州大学病院

#### ○研究成果

- ・プロトタイプロボットの開発（使用者に応じて筋トレの負荷を自在に制御可能）
- ・実証試験の完了（新しい筋トレ方法開発：転倒防止に有効な筋力が顕著に向上）

### イ. 競争的資金事業応募等へのコーディネート活動等

県の健康ビジネスモデル推進事業や、医療・健康等に関する国等の競争的研究資金への応募に際して、事業提案や申請書の作成支援、事業実施のための研究会・事務局等の担当など、健康・医療関連ビジネスの創出のための裾野の拡大に努めた。

## (3) 超高压技術を活用した地域産業の創出

超高压処理技術の活用は食品分野などで期待されており、この技術を地域産業の発展に結び付けるため、産学官のネットワークのもと、先端的な超高压技術の研究開発に取り組んだ。

### ○新潟県地域結集型研究開発プログラム

「高压技術を利用した食の高付加価値化に資する基盤技術の開発」を研究テーマとして、5年間のJSTの受託研究事業を獲得した。

今後、食品加工分野において本県が世界をリードする高压技術を集積させ、新規イノベーションの創出を図る。

#### ・研究開発テーマ

次世代型高压プロセスによる高機能・高付加価値食品の開発

高压を使用した物性変換技術の開発

高压に係わるシステム安全性確保技術の確立

#### ・コア研究室等の体制整備

ながおか新産業創造センター及び新潟市バイオリサーチセンター内にコア研究室等を設置し、今後本格化する研究体制を整備した。

・普及啓発

高圧技術の普及啓発と産学官連携体制を構築するため、新潟県地域結集型研究開発プログラムのキックオフセミナー、日本高圧力学会との共催による高圧力科学技術セミナーを開催した。

#### (4) マグネシウム合金関連産業群の創出

県内では既に先進的なマグネシウム加工技術が蓄積されており、これを活用してマグネシウム製品の新規市場参入を目指すため、関連企業等と連携してマグネシウム合金の量産システム構築や実用化のための加工技術の開発等に取り組んだ。

##### ○都市エリア産学官連携促進事業（発展型）

都市エリア産学官連携促進事業（一般型）で開発した高強度でプレス性の良いマグネシウム新合金を、車両や鉄道・航空機用の準構造材部品に活用することを狙いとして、展伸材量産システムの確立や各種加工技術の開発に取り組んだ。

・研究開発の実施（大学等への再委託により次の4テーマを実施）

新マグネシウム展伸素材の量産システム技術構築（300mm幅コイル）

高耐食性を有する表面処理技術の開発

高効率機械的接合、異種材締結、精密切断技術の開発

複雑形状付与プレス技術の開発

・コーディネーターによる事業化コーディネート

科学技術コーディネーターと事業化戦略コーディネーターが大学・企業等を訪問し、技術シーズやニーズなどの調査を行い、県内外の企業や県外の自動車・宇宙航空関連事業に訪問し、事業化・マッチングに向けたコーディネートを行った。

・研究会・交流会等の実施

研究推進会議の実施：4回

「新潟県マグネシウム事業化推進協議会」交流会の開催：2回

研究成果発表会の開催（平成20年3月14日）

評価委員会の開催（平成20年3月14日）

#### (5) 「百年物語」ブランドの構築

県内生活関連産業の高度な技術を駆使した良質で長く使用できる商品を意欲的な参加企業とのコラボレーションにより開発し、フランクフルトメッセ出展を通して、ヨーロッパ市場でのブランド確立に取り組んだ。

##### ○テーマ：「生活を豊かにする酒文化の道具」

世界的デザイナーである喜多俊之氏のデザイン監修により、新潟が誇る技術を最大限に活かし、4つの視点から酒を楽しむ道具と文化を提案した。

・一人時間を豊かにする酒道具

- ・人を美しく華やかにする、パーティの酒道具
- ・生活と歳月の節目を楽しむ、セレモニーの酒道具
- ・自然との出会いを楽しむ、ピクニックの酒道具

○参加企業、開発アイテム

企業数 16 社、開発アイテム数 16 シリーズ

○出展概要（アンビエンテ・インターナショナル・フランクフルトメッセ 2008）

会期：平成 20 年 2 月 8 日～12 日

引き合い数： 70 件（会期中）

## （6）戦略的産業人材の育成

### ①戦略的産業人材創造事業

ソフト・ハード両面から産業人材育成を実施し、これらを核として製造業とソフトウェア業との融合により可能となる、付加価値の高い“システム開発産業群”の創出に取り組んだ。

#### ア．開発技術者育成研修の実施

○高度 IT 人材育成研修（業務系技術者育成コース）

合計 41 コースの高度 IT 人材育成研修を実施、受講者数は 69 社 384 名であった。

コース名	実施数	総定員	申込者数	修了者数	稼働率*
プロジェクト マネージャー育成コース	9	135	108	104	80%
ネットワーク スペシャリスト育成コース	12	180	99	99	55%
アプリケーション スペシャリスト育成コース	19	285	167	166	59%
コンサルティングセールス育成コース	1	15	15	15	100%
計	41	615	389	384	63%
ライブ研修(IPA 主催)	28	420	279	276	66%

\*稼働率:申込者数/定員

○組み込みシステム開発技術者研修

合計 6 コースの研修を実施、受講者数は 28 社 110 名であった。

コース名	実施数	総定員	申込者数	修了者数	稼働率*
組み込み技術【基礎】コース	1	24	33	33	138%
組み込み技術【実践】コース	1	18	23	22	128%
プロジェクト管理技術コース	1	18	13	13	72%
開発技術コース	1	24	11	11	46%
要素技術コース	1	24	14	14	58%
システム開発演習	1	36	17	17	47%
計	6	144	111	110	77%

\*稼働率:申込者数/定員

○長岡モノづくりアカデミー（開発設計コース）

高付加価値型の産業創出に取り組むため、企業における開発設計の中核となる人材の育成をねらいとした講座を実施した。

受講生：25名（定員20名）、受講料：15万円

カリキュラム：

講義（専門基礎4科目8時間、専門14科目28時間）

実習・演習（CAD18時間、CAE6時間、リバーズエンジニアリング11時間、インターンシップ31時間）

その他（技術懇談4時間）、延べ受講時間106時間

受講率：87%（皆勤9名）

イ. 戦略的人材開発セミナーの開催

6回開催（9月13日、10月11日、11月22日、11月30日、12月5日、3月19日）

ウ. システム開発産業群創出検討委員会の開催

3回開催（5月29日、6月27日、10月24日：公開委員会）

エ. 研修カリキュラム開発委員会の開催

4回開催（9月19日、10月24日、11月21日、1月23日）

②N-SECプロジェクト

ア. 受注拡大コーディネート

○製造機械・装置分野

企業訪問数延べ172社（受注企業123社、発注企業49社）

成約9件、その他（試作依頼2件、見積もり依頼4件、図面検討依頼1件）

○組込みソフト分野

企業訪問延べ104社（受注企業35社、発注企業69社）

成約2件、その他、大規模案件2件の折衝中

イ. 組込み総合技術展出展

開催期間：平成19年11月14日～16日

出展企業5社2団体、来場者数 延べ26,642名

試作依頼1件、見積もり依頼3件、後日面談3件、その他情報交換79件  
（平成19年11月末現在）